

令和6年度学校自己評価表

名古屋たちばな高等学校

全日制課程

I 学校の現況

- (1) 学校名 名古屋たちばな高等学校
- (2) 課程 全日制課程（男子・女子）・通信制課程（男子・女子）
- (3) 所在地 全日制課程 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山一丁目2番29号
橘校舎 〒460-0016 名古屋市中区橘二丁目6番15号
TEL：052-322-1911 FAX：052-332-3427
ホームページ：<https://tachibana-hs.ed.jp>
メールアドレス：tachibana-hs@asu.ac.jp
- 通信制課程 〒460-0016 名古屋市中区橘一丁目21番25号
TEL：052-322-5255 FAX：052-322-5259
ホームページ：<http://asu-tchs.jp>
メールアドレス：asu-tchs@asu.ac.jp

(4) 沿革

- 昭和36年 前身の愛知工芸高等学校が創立する。電気通信科設置
- 昭和37年 学校名が東海工業高等学校に改称される。電気科設置
- 昭和38年 電気通信科を電子科に改称
- 昭和39年 機械科を設置
- 昭和40年 通信制課程普通科を新設
- 昭和43年 通信制課程に電気科・機械科を増設
- 昭和54年 岩塚校舎が落成
- 昭和57年 4号館が落成
- 平成7年 家庭科実習棟が落成
- 平成12年 通信制課程校舎が落成
- 平成13年 愛知産業大学工業高等学校に改称
- 平成14年 管理棟が落成
- 平成19年 2・3号館が落成
- 平成23年 創立50周年を迎える
- 平成27年 伊勢山本校舎が落成
- 平成29年 橘校舎110周年記念アリーナが落成
- 令和3年 創立60周年を迎える
- 令和6年 名古屋たちばな高等学校に改称。普通科設置。男女共学化。

(5) 学科の構成

①電気科

電気・電子に関する基礎的な知識や技術を習得し、電気の発生から応用までを幅広く学習します。太陽光発電や燃料電池などの新エネルギーをはじめとする最先端の電気技術を学ぶことができます。

《目標資格》 第三種電気主任技術者、電気基礎認定試験、第一種電気工事士、第二種電気工事士など

②電子科

電気・電子における基礎知識および技術を取得し、電化製品の仕組みやシステム設計まで幅広く学習します。社会人に求められる情報スキルのベースとなる電子情報技術を学ぶことができます。

《目標資格》 基本情報技術者、第一級アナログ通信、第二級アナログ通信、第一級デジタル通信、第二級デジタル通信、第1級陸上特殊無線技士、第2級陸上特殊無線技士など

③機械科

溶接・機械加工からエンジンの仕組み・自動工作機まで金属加工・機械テクノロジーの基礎から応用まで幅広く学習します。電子回路・プログラミングなど実習を重視し、ロボットの仕組みや情報スキルを学べます。勉強も部活動も、一生懸命に取り組みたい生徒に向けてバックアップします。

《目標資格》 アーク溶接技能検定、ガス溶接技能講習、旋盤技能検定、基礎製図検定、機械製図検定、初級CAD検定など

④普通科

Society5.0、超スマート社会など変革する社会において、ただ大学進学を目標とするのではなく、ICT活用の学習によりDigitalスキルを高め、「わからない分野」「知らない世界」においてもゼロから挑戦できる想像力豊かな人材育成を目指します。

(6) 生徒数 (全日制課程)

令和7年5月1日現在

学年	1学年	2学年	3学年	合計
電気電子科	187(19)	*	*	187(19)
電気科	*	83(7)	32	115(7)
電子科		88(8)	44	132(8)
機械科	289(10)	247(5)	149	685(15)
普通科	100(44)	69(31)	*	169(75)
合計	576(73)	487(51)	225	1288(124)

()女子人数

II 教育目標

- (1)「建学の精神」：豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する
- (2)「教育目標」：社会から歓迎される技術者の育成をめざして、電気・電子・機械に関する専門教育を実践し、時代の進展を視野に入れた基礎能力を定着させ、更に、将来のスペシャリストとして、専門の力をつけるよう教育内容の充実と改善に努めております。また、多くの情報が得られ、多様性が求められる時代に対応できる想像力豊かな人材の育成を教育理念としています。
- (3)「校訓」：感謝・礼儀・誠実・積極・努力
- (4)「誓いの言葉」：私たちは父母のおかげで勉学する機会が与えられているからその期待にそむかず一生に二度とこないこの時を無駄にすることなく勉学と修養に励み社会から喜ばれる人間になろう。

教務科（学習に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p>1. 基礎学力の向上と定着</p> <p>①成績不振者に対して、1・2学期に面談を実施し、学年末の原級留置「0」を目指す。</p> <p>②定期試験を始め、各種試験における問題行動「0」を目指す。また、体育授業におけるけがや事故の防止に努める。</p> <p>③進学・就職に対応できる基礎学力の向上と定着。</p>	<p>1. 基礎学力の向上と定着</p> <p>①夏休み中に基礎学力向上講習を実施。(8/29・8/30)</p> <p>②3学期定期試験後に不正行為発覚。体育授業中のけがは複数件あり。</p> <p>③高校生のための学びの基礎診断をベネッセ基礎力診断テストを利用して実施。</p>
<p>2. 電気・電子科</p> <p>①安全指導の徹底と実習災害「0」。</p> <p>②整理整頓の励行および施設・設備の管理徹底。</p>	<p>2. 電気・電子科</p> <p>①実習事故「0」。</p> <p>②管理台帳記入状況良好。異常なし。整理整頓継続中。</p>
<p>3. 機械科</p> <p>①安全指導の徹底と実習災害「0」。</p> <p>②基礎力の定着。(課題テスト平均点 50 点以上。10 点以下の生徒をなくす。)</p> <p>③全体の資格合格率 55%。(昨年度 53.5%)</p>	<p>3. 機械科</p> <p>①重大事故なし</p> <p>②1年 53.7 点、2年 18.5 点 10 点未満：1年 6 名、2年 70 名</p> <p>③合格率 65.5%(延べ 506 名合格/772 名受験)</p>

<p>4. 資格取得の奨励</p> <p>①第一種電気工事士合格 20 名以上、第二種電気工事士合格 50 名以上。</p> <p>②電気基礎認定試験合格 15 名以上。高校工業基礎学力テスト平均 45 点以上。</p> <p>③愛知県知事技術顕彰 100 名以上の受賞。</p> <p>④卒業時、3 年生 1 人あたりの資格取得 4 つ以上。</p> <p>⑤ジュニアマイスター顕彰 10 名以上受賞。</p> <p>⑥国家資格 200 名以上の取得。</p> <p>5. 図書</p> <p>①「図書だより」を各学期 1 回発行。</p> <p>②「朝の読書」取組みの推進。</p> <p>③電子図書を導入して活用をはかる。</p> <p>④橘校舎蔵書図書のデータベース化(情報館)。</p> <p>6. 教員の資質向上</p> <p>①現職研修の積極的実施。</p>	<p>4. 資格取得の奨励</p> <p>①第一種電気工事士 9 名、第二種電気工事士 30 名、</p> <p>②電気基礎認定試験合格 7 名、高校工業基礎学力テストは平均未集計、70 点以上が 3 名。</p> <p>③愛知県知事技術顕彰 81 名受賞。</p> <p>④卒業生 1 人あたり 3.56 個取得。</p> <p>⑤8 名。(ゴールド 2、シルバー 3、ブロンズ 3、</p> <p>⑥のべ 147 名取得。</p> <p>5. 図書</p> <p>①各学期 2 通の発行、計 6 号を発行して校内・教室へ掲示。</p> <p>②「朝の読書」取組み進まず。地道な継続が必要。</p> <p>③電子図書館情報サービス：ライブラリエ 9 月に活用開始・運用中。</p> <p>④「情報館」によるデータベース化進行中。</p> <p>6. 教員の資質向上</p> <p>①現職研修は 2 回実施。</p>
---	---

【自己評価及び課題等】

1. 基礎学力の向上と定着

- 普通科設置に伴い、基礎学力の向上は今後さらに強化が必要。
- 不正行為をさせない試験監督としての自覚が必要。体育授業中のけがは、発育段階における巧緻性の欠如や基本的運動能力そのものの低下などによりこれまで起きにくかった場面での発生頻度が高い印象。
- 将来的に就職にも進学にも対応できる幅広い分野の学習指導が必要。

2. 電気・電子科

- 安全や整理整頓に対しては、現状を維持するための教員間の共通意識が必要。
- 引き続き電子系資格合格者の増加を図る。

3. 機械科

- 安全対策の見直しを行った。実習中のけがや事故については、程度の大小にかかわらず、担当者同士でその情報を共有し、再発防止に努める。
- 基礎力の向上については今後さらに具体的な取り組みが必要。

4. 普通科

- ICT活用の学習により Digital スキルを高める。
- 大学進学を見据えた基礎学力の向上が必須。
- 普通科が軌道に乗っていくためにも大学合格実績が必要となる。

5. 資格取得の奨励

- 重点目標突破に向けて今後も資格取得奨励を呼びかけていく。
- 上級資格を取得するにも基礎学力の向上が必要。基礎学力の強化と資格取得へのチャレンジ精神の両立に向けて具体的取り組みが必要。

6. 図書

- 本校舎から離れた橘校舎にある図書室をどのように利用させるかが課題。電子図書導入を通して読書習慣を高める。

7. 教員の資質向上

- 現職研修の1回目（6/22）は「コーチングの重要性を学び円滑な人間関係力を高める」を実施。「心と体の健康法」を学んだ。
2回目（12/14）は「高等学校に期待すること」（今、「学校」、「教職員」、「生徒」に何が求められているのか）について受講。

教務科（進路指導に関わる項目）

重点項目	主な結果
<u>1. 就職</u> ①インターンシップ（2年次7月） ②基礎学力の向上と面接指導の徹底を目指す。 ③学校紹介一次内定率 90%以上を目指す。 ④12月末までに内定率 100%以上を目指す。	<u>1. 就職</u> ①2年生 134名が参加。 ②面接指導は8月末から実施。 ③一次内定率 95.6% ④12月13日に全員内定。 （学校紹介就職希望者）
<u>2. 進学</u> ①年内に進学希望者合格率 90%。 ②姉妹校への進学者数確保。	<u>2. 進学</u> ①年内に 94.4%達成。 ②愛産大 13名 ELIC5名進学。

(愛産大 20 名、ELIC10 名以上) ③入試全般の合格率 80%以上。	③全体 94.4%達成。
---	--------------

【自己評価及び課題等】

1. 就職

○丁寧できめ細かな指導を心掛け、早期に内定率 100%を達成できた。昨年に引き続き、若年者労働者の減少により求人倍率が 16.07 倍と高かったことが要因のひとつ。

2. 進学

○総合型選抜入試の受験者が全体の 50%を超えているため、今後は小論文指導に力を入れていく。

指導科（生活指導・特別指導に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</p> <p>①頭髪最終指導者各学年 5 名以下。</p> <p>②遅刻指数 1.5 以下、欠席指数 2.0 以下。</p> <p>③無断アルバイト撲滅。</p> <p>④校内盗難事故“ゼロ”自己管理呼びかけ</p> <p>⑤正副ルーム長のリーダーシップを高める。</p>	<p>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</p> <p>①リクルートスタイルの定着を図る。</p> <p>②遅刻・欠席ともに昨年度同様に高い水準。 遅刻指数 2.59 欠席指数 4.28</p> <p>③無断アルバイト無し。</p> <p>④盗難の報告なし、忘れ物増加</p> <p>⑤指導に十分な時間をかけられていない。</p>
<p>2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。</p> <p>①問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高め特別指導者数を減少させる。</p> <p>②SNS等のネットマナーの徹底。</p> <p>③4 ナイ運動の徹底、指定自動車学校への入校と、免許取得後の学校保管の徹底（事故防止）を目指す。</p>	<p>2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。</p> <p>①31 件（SNS 違反 12、飲酒喫煙 5、器物破損 3、暴力 2、不法侵入 2、その他 7）</p> <p>②SNS 不正使用（13 名）</p> <p>③4 ナイ運動関係において問題行動発生 1 件。自動車運転免許の取得状況把握。自動車学校との連携強化。</p>

④指導教材を時代に即したものに選定し指導効果を高める。	④指導教材では、休日の課題プリントおよび課題作文の一部見直し。女子生徒の入室を考えた指導内容の検討
-----------------------------	---

【自己評価及び課題等】

1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。

- 「リクルートスタイル」で統一としたものの、浸透が進んでいない。生徒間教員間でも認識の差が出ている。
- 昨年度に引き続き、学校生活向上部会を設置し、保護者・生徒・学校が連携してより良い学校を目指す。
- 携帯電話はじめ所有物はロッカーでの自己管理を徹底させる。
- 校則の見直しや改定については、世の中の動向を見定め、学校方針のもとで、生徒会や保護者会の場において確認・議論して行うことが必要。

2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。

- SNS での誹謗中傷や命の尊さに力点を置く指導を一層強化する。
- 「4ナイ」運動は、自動車学校との連携を強化し、運転免許取得状況の把握に努める。
- 問題行動生徒に対しては、本人・保護者・学校間での連携と話し合いが大切。本人への深い自省を促す有効な指導内容を検討して、今後も未然防止に努める。
- 指導用の教材は時代に即したものを選定し指導強化を高めていく。
- 学期ごとに「生活アンケート」を実施し、いじめに発展し得る行為について学級担任が早期かつ的確に把握する。「いじめを発生させない」学校の実現を目指す。

指導科（保健・安全教育に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p>1. 登下校マナーの向上と安全指導</p> <p>①愛知県警主催の「200 日間自転車無事故無違反ラリー」に挑戦し、8年連続表彰に挑戦する。 (6/3～12/19)</p> <p>②自転車通学者の車両点検の徹底と保険加入および登録申請 100%。</p> <p>③自転車通学者対象の交通安全指導を年2回実施し、昼放送を通して生徒の安全意識を高める。</p>	<p>1. 登下校マナーの向上と安全指導</p> <p>①無事故無違反ラリー8年連続達成。</p> <p>②全車両の点検および保険加入登録申請済み。</p> <p>③対象者全員に対して安全指導放送および警察官による交通安全講話を実施。</p>

<p>④公共交通機関利用時と登下校時のマナーやモラルの向上を目指し、掲示物を作成する。</p> <p>2. 健康への関心を高める取り組み</p> <p>①健康診断結果に基づき、必要な場合は専門医療機関での再検査や再治療を呼びかける。</p> <p>②「保健室通信」を月1回程度発行し、健康への関心を高める。</p>	<p>④マナーとモラルについての掲示物を作成し、校内及び教室内に掲示。</p> <p>2. 健康への関心を高める取り組み</p> <p>①健康診断結果は4月末に、再検査勧告書は6月中に配布。</p> <p>②毎月1回発行。 HPにも掲載。</p>
--	--

【自己評価及び課題等】

1. 登下校マナーの向上と安全指導

- 自転車乗車時のヘルメット着用の定着については、継続して指導を行う必要がある。
- 自転車通学者以外の生徒に対しても昼放課や放送指導を通じて交通安全指導を実施。
- 保健室通信を各教室に掲示のほかホームページにも掲載中。

2. 健康への関心を高める取り組み

- 体育館での養護教諭による一斉指導を実施する。

指導科（生徒会・社会貢献・生徒相談に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p>1. 部活動と委員会活動の活性化</p> <p>①部活動入部率目標 80%以上。</p> <p>②委員会活動において具体的目標を定める。</p> <p>③生徒会執行部および部活動生徒が協力して地域貢献を図る。</p> <p>④部活動関係書類の速やかな処理。</p> <p>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</p> <p>①夏期ボランティア活動目標 30名参加。</p> <p>②缶詰め 100万個ボランティア協力 20名以上。</p> <p>③卒業献血協力者 100名以上。</p>	<p>1. 部活動と委員会活動の活性化</p> <p>①1年生入部率 70%</p> <p>②委員会全 9回を実施。</p> <p>③令和6年度改正道路交通法促進キャンペーン参加 (11/20)。</p> <p>④支払請求書、行事報告書、未提出あり。</p> <p>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</p> <p>①53名参加 (1年：18名、2年：28名、3年：7名)</p> <p>②47名参加。献血協力総数 18229名。</p> <p>③81名参加。</p>

<p>④地域・社会貢献の充実を図る。</p> <p>(1)通学路クリーン運動</p> <p>(2)あけぼの学園奉仕活動参加</p> <p>3. 心の支援活動</p> <p>①スクールカウンセラー（SC）と連携し、担任推薦によるカウンセリングを行い、不登校や中途退学未然に防ぐとともに担任のサポートをする。</p> <p>②サポートミーティングを毎月実施し学年と担任に情報を共有する。</p> <p>③保護者対象の心理学講座の紹介と参加を呼びかける。</p> <p>④SCによる教員対象の勉強会を実施する。 (年2回以上)</p>	<p>④</p> <p>(1)月1回程度実施。</p> <p>(2)マーチングバンド部と有志が参加。</p> <p>3. 心の支援活動</p> <p>①保護者を含めて22名がカウンセリングを行った。人間関係の悩みなどで1年生が17名と目立った。</p> <p>②毎月、サポートミーティングを実施し生徒の情報共有はかる。</p> <p>③今年度は保護者対象講座を開催できず、来年度は開催したい。</p> <p>④教員対象勉強会は1回の実施にとどまった。発展させていきたい。</p>
---	--

【自己評価及び課題等】

1. 部活動と委員会活動の活性化

- 委員会活動については年間計画および各回のテーマを掲げ、問題解決の力の育成を目指す。また委員会は、生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくことを目的として開催する。
- 部活動関係提出書類については、部顧問の負担軽減とDX化を推進する。

2. 地域に貢献できる活動への積極的参加

- 地域に愛される学校づくりの一環として地道に奉仕活動を展開していくことが必要。

3. 心の支援活動

- サポートミーティングを開催し、SCを交えたスクリーニング会議の実施により、悩みを抱える生徒の早期把握と教職員間の情報共有を高める。
- 生きる力を育む教育実践のため、命の大切さを伝え、人権教育や性教育を充実させるための具体的な取り組みを推進する。

校務科（学校管理・保護者対応に関わる項目）

重点目標	主な結果
<p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</p> <p>①校内事故による怪我ゼロを目標とし、安全に学習できる環境を整える。</p> <p>②省エネを推進し、目標値「前年度比1%削減」を目標に、意識の高揚を図る。</p> <p>③環境衛生に気を配り、ごみを前年比3%減少する。</p> <p>2. 危機管理</p> <p>①防災訓練を計画・実施し、教員・生徒の意識を高める。また、不審者侵入の対応を検討し未然防止を図る。</p> <p>3. 学校環境衛生</p> <p>①校舎内外の清掃の徹底</p> <p>②ゴミの分別徹底。減量化</p> <p>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</p> <p>①保護者役員会を年5回実施</p> <p>②学校行事等の案内を出し、できるだけ多くの保護者に参加して頂く。</p>	<p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</p> <p>①施設・用具等の不安全状態による怪我はゼロ 引き続き、校内環境整備に努める。</p> <p>②環境の変化により、エアコン使用頻度が増加している。引き続き、こまめにオンオフをして削減に努める</p> <p>③昼食等の、持込ゴミの回収方法等の見直しやゴミの分別を徹底し、削減に努める為、協力をお願いする。</p> <p>2. 危機管理</p> <p>①不審者侵入対応訓練を5/22 岩塚校舎風水害対策訓練を5/28、シェイクアウト訓練及び避難訓練を9/2にそれぞれ実施。</p> <p>3. 学校環境衛生</p> <p>①夏休み期間業者による清掃を実施。</p> <p>②ゴミの分別回収を徹底。</p> <p>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</p> <p>①総会…5/11に実施 第1回…4/27、第2回…7/5、第3回…9/6、第4回…12/13、第5回…2/8に実施</p> <p>②参加しやすいように早期に案内を出したい。</p>

【自己評価及び課題等】

1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実

○継続して安全点検を実行し、安全状態の維持および危険箇所の撲滅に努める。省エネについては、これまで以上の強い啓発活動と教員自身の意識改革が必要。

2. 危機管理

○大規模災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施し、速やかな避難の実践を図る。

3. 学校環境衛生

○ごみの分別や削減は、生徒への指導は当然であるが、教員の意識向上も必要である。

4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加

○保護者との信頼関係を維持するため、また生徒のために、保護者会活動を重要な位置づけとして捉えた取り組みを継続していきたい。

校務科（渉外・生徒募集に関わる項目）

重点目標	主な結果
<u>1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み</u> ①推薦入学 370 名(工業 320、普通 50)を獲得。 ②一般受験生 1100 名(工業 800、普通 300)を獲得。 ③入学者 430 名の確保。 ④体験入学・入部、見学説明会の延べ参加数 1200 名超。 <u>2. 学校情報の提供</u> ①校名変更、男女共学、普通科設置を広めるため、各種広報活動に努める。	<u>1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み</u> ①推薦入学 434 名(工 290、普 60)。(前年：340) ②1297 名(工 884、普 413)。 前年 1370 ③576 名(工 476、普 100)。 (前年 508) ④体験入学 2 日間、見学説明会 4 回で 1448 名 (前年：1157)。 <u>2. 学校情報の提供</u> ①HP やパンフレット等の広報活動や各種見学会の開催等に努めた。

【自己評価及び課題等】

1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み

○体験入学入部や見学説明会は校名変更、普通科設置、男女共学を踏まえた内容にリニューアルして実施。

2. ホームページまたは印刷物による情報の提供

○担当業者との連絡を密にし、いち早く情報を提供できるよう工夫が必要。

各学年の目標

重点目標	主な結果
<p>1. 1 学年</p> <p>①定期試験平均点 60 点以上。 ②欠席率・遅刻率ともに 1.5 以内。 ③退学率 2%以内。 ④入部率 70%以上。</p> <p>2. 2 学年</p> <p>①定期試験平均 60 点以上。 ②欠席率 1.5, 遅刻率 1.5 以内。 ③愛知県知事技術顕彰受賞者総計 140 名以上。 ④退学者率 1% (2 名) 以内。</p> <p>3. 3 学年</p> <p>①定期試験平均点 60 点以上。 ②姉妹校進学者 30 名以上。</p> <p>③就職一次内定率 85%以上。年内の内定完了。</p> <p>④ジュニアマイスター顕彰 5 名以上。</p>	<p>1. 1 学年</p> <p>①62.2 点 (学年末) ②欠席率 2.87、遅刻率 1.74 ③3.5% (18 名) ④70.9%</p> <p>2. 2 学年</p> <p>①63.3 点 (学年末) ②欠席率 2.09、遅刻率 0.75 ③69 名。 ④転退学計 1.75% (4 名)</p> <p>3. 3 学年</p> <p>①61.8 点 (学年末) ②愛産大 13 名、ELIC5 名が 進学。 ③95.6%。12/13 に全員内定。 ④ゴールド 2 名、シルバー9 名、ブロンズ 15 名</p>

【自己評価及び課題等】

- 生活習慣の乱れが成績不振につながっていくことが多いことから、保護者との連携を強化して安定した学校生活の実現を目指す。
- 数値の設定だけにとどまらず目標達成に向けた具体的対策が必要。

令和6年度 保護者学校評価アンケート結果

□ 思う □ 普通 □ 思わない □ わからない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

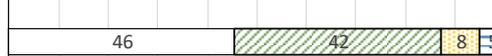
学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



学校の雰囲気が良く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



学校は生徒の実態に応じ、個別の課題設定や補充授業など、学力定着のための工夫を行っている。



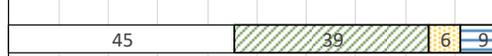
学校は生徒の進路目標に応じ、柔軟な学習内容を提供している。



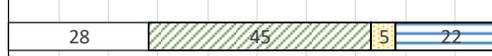
学校は生徒に資格試験や検定試験を通して、多様な学習機会を提供している。



学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



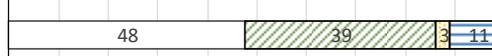
学校は教員やカウンセラーが必要な時に親身になって相談に対応する体制ができています。



学校は外部講師を招いて講習会を実施するなど生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は進路目標の明確化に向け、生徒に必要な情報を提供している。



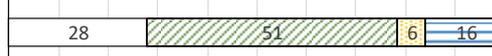
学校は希望進路の実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



学校は体育祭などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるよう工夫している。



学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



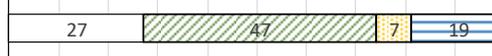
学校は感染症拡大防止対策に努め、速やかかつ適切に対応している。



学校はホームページや学年通信・保健室通信などによって、学校の情報を適切に伝えている。



学校は定期的に学校生活アンケートを実施するなど日頃からいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。

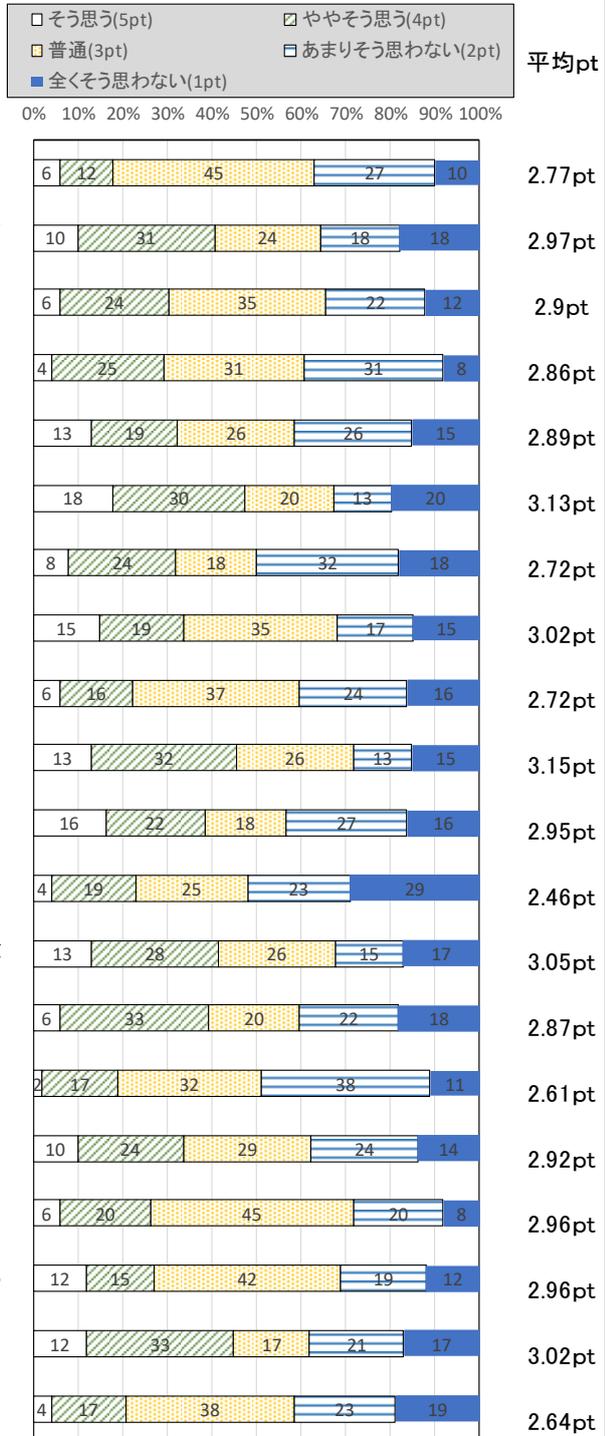


学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。



◎ 回答率 279 / 992 = 28.1 [%]

令和6年度 教職員学校評価アンケート結果



◎回答率 46 / 82 = 56.1 [%]